

FMV

B5FY-9801-01 Z0

FMV シリーズ

オンラインマニュアル

ECO プラスカラー液晶ディスプレイ - 17
(VL-177SRL)

FUJITSU

はじめに

このたびは、弊社の ECO プラスカラー液晶ディスプレイ -17 (VL-177SRL) (以降、本製品) をご購入いただき、誠にありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2009 年 10 月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼するときには、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください。(詳しくは、保証書をご覧ください。)
- ・本製品の補修性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。
- ・保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- ・本製品の LCD パネルは、有寿命部品です。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、空調のある通常のオフィス環境において 1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことや無量修理をお約束するものではありません。長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品>

LCD パネル、アルミ電解コンデンサ、対人センサー

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本製品は国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

電源の瞬時低下について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

静電気および低周波電磁界に関するガイドラインについて

製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。

PC グリーンラベルについて



本製品は PC3R『PC グリーンラベル制度』の審査基準（2009 年度版）を満たしています。
詳細は、WEB サイト <http://www.pc3r.jp> をご覧ください。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



本製品は電気・電子機器の特定の化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質>の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本製品における特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
<http://www.fmwworld.net/biz/fmw/jmoss/>

■ 警告表示について

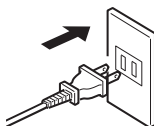
本マニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 電源プラグとコンセント形状の表記について



本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。このマニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
VL-177SRL	本製品	
Windows Vista [®] Ultimate	Windows Vista	Windows
Windows Vista [®] Enterprise		
Windows Vista [®] Business		
Windows Vista [®] Home Premium		
Windows Vista [®] Home Basic		
Windows [®] XP Professional	Windows XP	
Windows [®] XP Home Edition		

■ 警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■ 商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

VESA、DDC は Video Electronics Standards Association の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2009

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。
また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■ 液晶ディスプレイ本体

⚠ 警告



- ・本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.44）、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.44）、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- ・本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.44）、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・近くで落雷のおそれがある場合は、本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、雷がやむまで取り付けないでください。

そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。



- ・開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。



- ・本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。

感電・火災の原因となります。

修理や点検などが必要な場合は、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.44）、またはご購入元にご連絡ください。



- ・梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



- ・ 取り外したカバー、キャップ、ネジなどの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



- ・ 本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



- ・ 振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。



- ・ 本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。



- ・ 本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・ 本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。
また、本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となります。



- ・ 矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源等）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。



- ・ 添付もしくは指定された以外の電源コードを本製品に使ったり、本製品に添付の電源コードを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・ 清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

⚠ 注意



- ・ 本製品を布などでおったり、包んだりしないでください。設置の際は本製品と壁の間に 10cm 以上のすき間をあげ、通気孔などの開口部をふさがないでください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- ・ 本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。



- ・本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。



- ・本製品をお使いになるときは次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や作業時間中に小休止を取るようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。また、画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。
 - ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
 - ・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
 - ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
 - ・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
 - ・手首や腕、ひじは机やいすのひじかけなどで支えるようにする。



- ・本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。
電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



- ・液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。



- ・本製品を腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所で使用しないでください。
本製品が腐食する可能性があります。

■ 電源コード

⚠ 警告



- ・電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）またはコンピュータ本体のアウトレットに直接かつ確実に接続してください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



- ・電源コードの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。



- ・電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.44）、またはご購入元にご連絡ください。



- ・電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



- ・電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。



- ・電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。

注意



- ・電源コードを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。

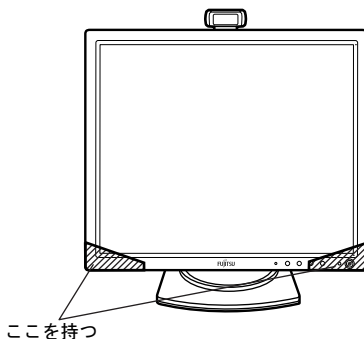


- ・本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

- ・液晶ディスプレイは次の特性をもっていますが、故障ではありません。
 - 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用して画面の表示を中断するか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。省電力機能などを利用して、自動的にディスプレイの電源を切る設定や、スクリーンセーバーの設定については、Windows のヘルプをご覧ください。
 - 表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがあります。
 - 周囲環境（温度）によって、表示状態が影響を受けることがあります。
 - 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの、表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。
- これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

- ・液晶ディスプレイの取り扱いについて
 - 衝撃を与えたり、強い力で押ししたりしないでください。故障の原因となることがあります。
 - ひっかいたり、先のとがったもので押ししたりしないでください。画面に傷が付く原因になります。
- ・画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。画面の表面コーティングやカバーが、はげたり変質したりすることがあります。
- ・持ち運ぶときは画面やスタンド部、対人センサー部を持たないで、下の図のように画面下部を両手で持ってください。また、背面のカバーを持つと、カバーが外れて本製品を落とす危険があります。



- ・本製品のスタンドの設置面には、台足を使用しています。台足の特性上、長時間同じ場所に設置していると、ご使用のテーブルや家具などに台足が吸着することがあります。
- ・画面をアルコールの成分を含んだ市販のクリーナーなどで絶対に拭かないでください。
- ・清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
「日常のお手入れ」（→ P.45）
- ・本製品の近くで、携帯電話やトランシーバーなどの電波を発する機器を使用すると、本製品の画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
- ・本製品は電源を切っても待機電流が流れます。長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ディスプレイケーブル、電源ケーブルなどの接続されている各種ケーブルを引っ張った状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。

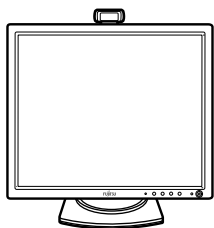
目次

はじめに	1
安全上のご注意	4
使用上のご注意	7
目次	9
1 製品を確認してください	11
2 本製品の特長	12
3 各部の名称と機能	14
角度調整	16
4 液晶ディスプレイの設置と接続	17
接続の前に	17
本製品を設置する	17
コンピュータ本体と接続する	18
盗難防止	20
アームまたは壁掛けキットの取り付け方法	20
スタンドの取り付け方法	23
5 ディスプレイドライバ (INF ファイル) のインストール	24
初めて電源を入れるとき	24
最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする	24
6 液晶ディスプレイのセットアップ	25
対人センサー機能	25
AUTO セットアップアクション機能	27
エコ機能	28
画質を選ぶ	30
細かい設定を行う	31
画質モードと調整項目の組み合わせ	34
7 省電力機能	35
8 こんなときには	36
画面が表示されない	36
対人センサーが正しく感知しない	38
画面がおかしい	39
画面調整ができない	42
音が聞こえない／変な音が聞こえる	43
お問い合わせ先	44
9 日常のお手入れ	45
清掃する	45

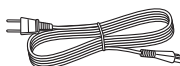
10	リサイクル	47
11	仕様	48
	本体仕様	48
	標準表示仕様	49

1 製品を確認してください

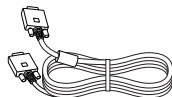
梱包箱から製品を取り出し、製品が揃っていることを確認してください。万一足りないものがあつた場合は、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。



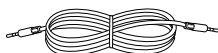
カラー液晶ディスプレイ本体
(緩衝材を外してご使用ください)



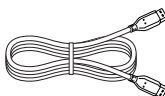
電源ケーブル



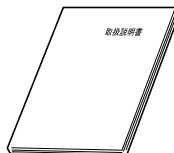
ディスプレイケーブル



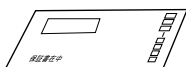
オーディオケーブル



USB ケーブル



取扱説明書



保証書

2 本製品の特長

1 ユーザー感知による省電力および盗み見防止機能

- ・ユーザーの有無をセンサーが感知し、離席時に最短4秒で画面の表示を消し、着席時に画面を表示します。これにより、約97%の消費電力を削減できます。
- ・USBケーブルをコンピュータ本体に接続すると、画面の表示を消した後、コンピュータのロックをする設定もできます。これにより、盗み見防止や第三者による不正使用を防ぐことができます。

2 大画面・高解像度・省スペース

- ・19型CRTに相当する大画面です。
- ・1280×1024ドットの解像度で最適に表示されます。
- ・スタイリッシュな狭額縁デザインを採用したため、ワークスペースを広く使えます。

3 DDC/CI 対応

本製品は、VESAのDDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。コンピュータ本体がDDC/CI規格に対応している場合は、DDC/CI機能を使って画面を設定できます。

4 sRGB 対応

ディスプレイとプリンタ/スキャナ/デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である、sRGBでの表示が可能です。



POINT

- ▶ sRGBとは、ディスプレイ/スキャナ/デジタルカメラなど周辺機器どうしの色再現性や、プリンタで出力するときの色を合わせることが目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。
- sRGBの設定については「細かい設定を行う」(→P.31)をご覧ください。

5 親切な自動調整機能

初めて入力された解像度(モード)でも、本製品が検知して自動的に調整しますので、解像度(モード)を変更しても、すぐに最適な画面でご使用になれます。

6 グリーン製品

省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。



**Green
Policy
Innovation**

7 多彩な設置方法

本製品は VESA の FDMI 規格に対応しています。FDMI 規格に準拠したアームまたは壁掛けキットに取り付けることができます。

POINT

- ▶「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイとアームまたは壁掛けキットを取り付けるインターフェースです。
インターフェースとしては 75mm × 75mm と 100mm × 100mm の 2 種類あります。
本製品は、75mm × 75mm に対応しています。

8 エコモード機能

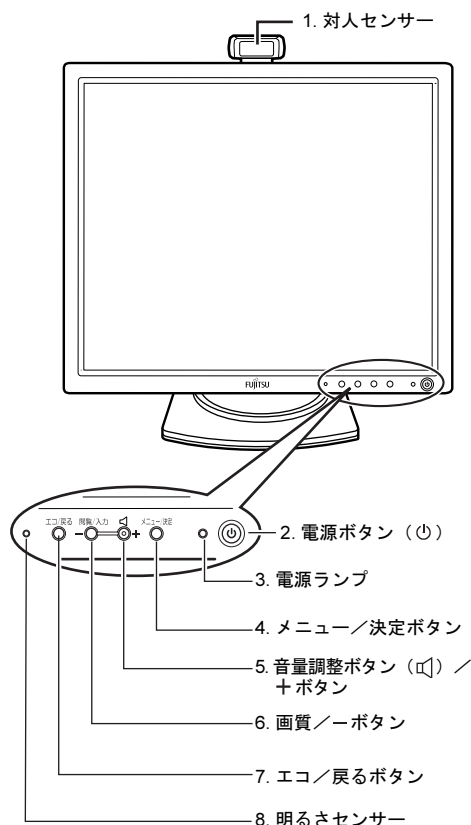
周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整する機能、周囲の明るさに加え表示する画像に応じて自動的に画面の明るさを調整する機能、およびワンタッチで明るさを最小にする機能の 3 モードを搭載しています。

本機能を使用すると、最大約 27% の消費電力を削減できます。

9 スピーカー内蔵

ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

3 各部の名称と機能



1 対人センサー

センサーの前に人が「いる」か「いない」かを感知します。

2 電源ボタン (⏻)

電源を入れたり切ったりするときに押します。

3 電源ランプ

電源が入ると緑色に点灯、省電力時はオレンジ色に点灯します。

4 メニュー／決定ボタン

メニュー画面を表示、調整項目を決定、設定値を保存するときに押します。

5 音量調整ボタン (⏮) / +ボタン

メニュー画面が表示されていないときは、液晶ディスプレイのスピーカー音量を調整できます。メニュー画面や音量調整画面が表示されているときは、設定値を調整します。

6 画質／-ボタン

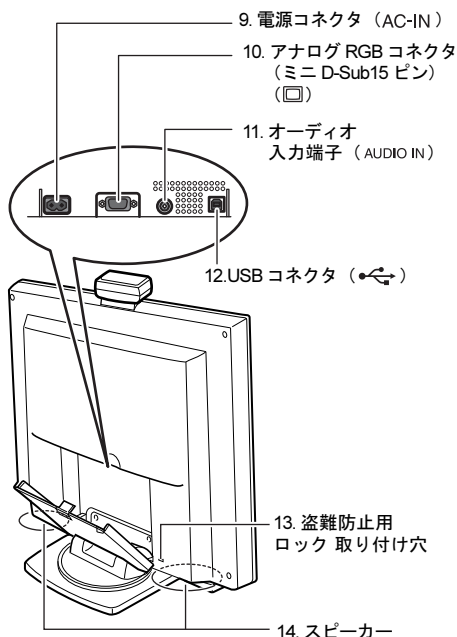
映像の内容に合わせた画質モードに選択するときに使用します (→ P.30)。メニュー画面や音量調整画面が表示されているときは、設定値を調整します。

7 エコ／戻るボタン

「エコモード」 (→ P.28) を切り換えます。また、メニュー画面で調整中の値を取り消したり、前のメニューに戻ったりするときに使用します。

8 明るさセンサー

「エコモード」 (→ P.28) を「オート」「インテリジェントオート」に設定したときに、周囲の明るさを検知して、画面の明るさを最適に調整します。



9 電源コネクタ (AC-IN)

電源ケーブルを接続します。

10 アナログ RGB コネクタ (ミニ D-Sub15 ピン)

コンピュータ本体とアナログケーブルで接続します。コアの付いていない側のケーブル端を本製品に接続します。

11 オーディオ入力端子 (AUDIO IN)

コンピュータ本体とオーディオケーブルで接続します。

12 USB コネクタ

コンピュータ本体と USB ケーブルで接続します。

13 盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを接続します。

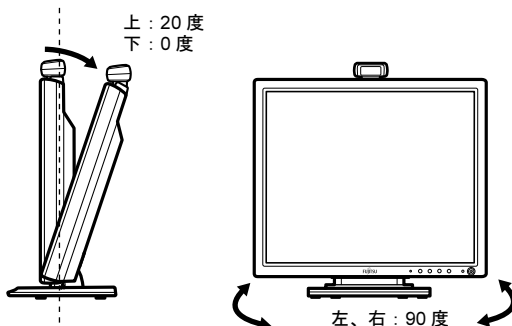
14 スピーカー

音声を出力します。

角度調整

■ディスプレイ

ディスプレイの上下・左右の角度を調整するときは、ディスプレイの両端を掴み、任意の角度に調整してください。

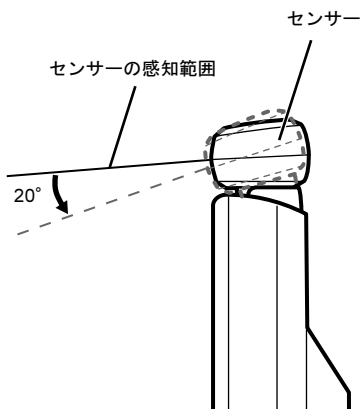


⚠ 注意

- ・ ディスプレイの上下の角度を調整するときに、ディスプレイ下部とスタンドの間に指をはさむおそれがありますので、ご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ・ 上図に示す角度を超えて無理な力を加えると、故障の原因となります。

■対人センサー

センサーの角度を調整するときは、ディスプレイの角度により、センサーがユーザーを感知しないことがあります。センサー部が使用者の顔中央を向くように、センサーの上下の角度およびディスプレイの左右の角度を調整してください。



4 液晶ディスプレイの設置と接続

接続の前に

- ・すべての接続が終了するまで、本製品とコンピュータ本体の電源は入れないでください。
- ・本製品の仕様と、コンピュータ本体の仕様を確認してから、接続してください。
「標準表示仕様」(→ P.49)

コンピュータ本体への接続については、コンピュータ本体のマニュアルもご覧ください。

本製品を設置する

注意

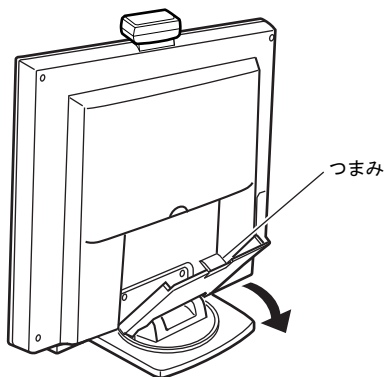
- ・ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本製品が落ちて破損やけがのおそれがあります。
- ・本製品を設置する場合は、安定した場所に設置してください。
- ・本製品を窓際に設置する場合は、液晶パネルに直接太陽光が当たらないようにしてください。
- ・テレビやラジオ、衛星放送チューナーなどのそばに設置しますと、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。

POINT

- ▶ VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを使用して設置する場合は、「アームまたは壁掛けキットの取り付け方法」(→ P.20) をご覧ください。

コンピュータ本体と接続する

- 1** 本製品背面のケーブルカバーを取り外します。
つまみを下に押し下げながら、手前に引きます。



- 2** ケーブルを接続します。

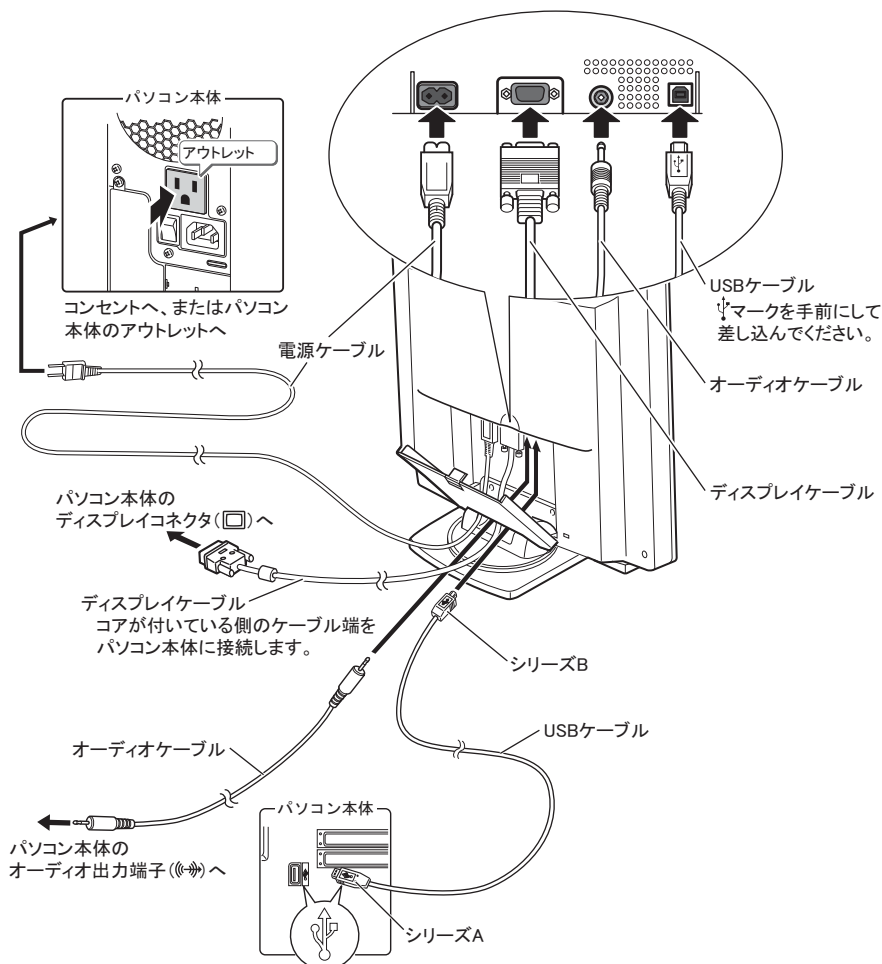
■ コンピュータ本体にアウトレットがない場合

電源ケーブルをコンセントに接続します。コンセントに接続する場合は、本製品の電源を入れた後、コンピュータ本体の電源を入れてください。

■ コンピュータ本体にアウトレットがある場合

電源ケーブルをコンピュータ本体のアウトレットに接続します。このように接続すると、本製品の電源がコンピュータ本体の電源と連動して入るようになります。

初めて電源を入れるときは、コンピュータ本体の電源を入れてから、本製品の電源を入れてください。ケーブル接続後に本製品に一度電源が入ってからは、コンピュータ本体の電源が入ると自動的に本製品にも電源が入ります。コンピュータ本体を起動するたびに本製品の電源を入れる必要はありません。



USB ケーブルをコンピュータ本体に接続すると、コンピュータのロックができます。詳しくは「対人センサー機能」(→ P.25) をご覧ください。

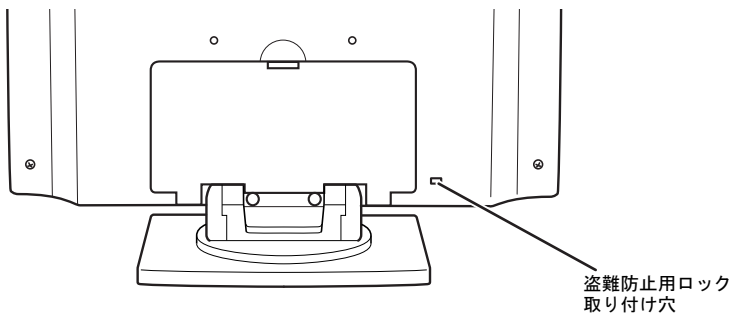
⚠ 注意

- ・ 本製品は、コンセントまたはコンピュータ本体のアウトレットの近くに設置し、異常が発生したときに、すぐに対応できるようにしてください。
- ・ 万一、異常が発生した場合は、本製品の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントまたはコンピュータ本体のアウトレットから抜いてください。

3 本製品背面のケーブルカバーの開口部にケーブルを通し、ケーブルカバーを取り付けます。

盗難防止

本製品の背面には、盗難防止用ロック取り付け穴があります。市販の盗難防止用ケーブルを接続できます。



アームまたは壁掛けキットの取り付け方法

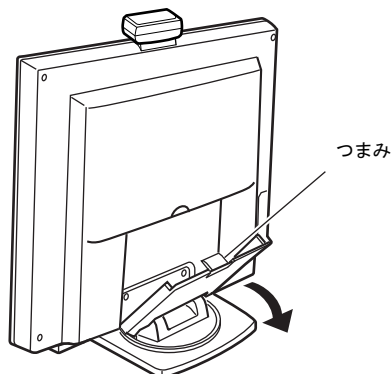
本製品はスタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを取り付けることができます。
ドライバーをご用意ください。

重要

- ▶ 本製品に取り付けるアームまたは壁掛けキットは、VESA FDMI 規格に適合したものをお選びください。
- ▶ 本製品に取り付けられるアームまたは壁掛けキットは、次の条件を満たしている必要があります。
 - ・ 取り付け部分のネジ穴の間隔が 75mm × 75mm である
 - ・ M4 × 10mm のネジで、取り付けができる
 - ・ 8kg の重さに耐えられる
- ▶ ネジは、VESA FDMI規格対応のアームまたは壁掛けキットに添付されているもの(M4 × 10mm)を必ず使用してください。
- ▶ ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- ▶ アームまたは壁掛けキットを取り付けおよび設置するときは、アームまたは壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。

1 本製品背面のケーブルカバーを取り外します。

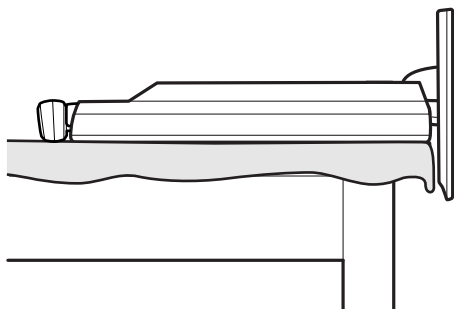
つまみを下に押し下げながら、手前に引きます。



2 すでにケーブルを接続している場合は、いったんすべてのケーブルを取り外します。

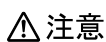
「コンピュータ本体と接続する」手順2 (→ P.18)

3 カバー／液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。

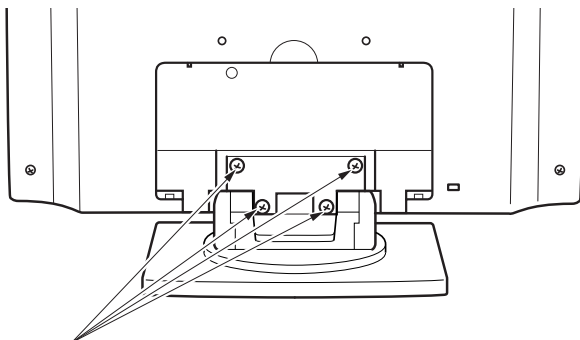


4 スタンドを取り外します。

ネジ（4ヶ所）を外した後、スタンドを取り外します。



注意 スタンドは必ず手で持って作業してください。スタンドの落下により、破損、けがのおそれがあります。



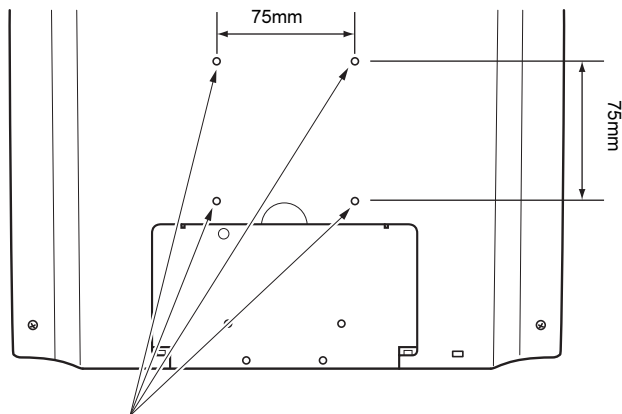
ドライバーでネジを外す（4ヶ所）

POINT

▶ 取り外したスタンドとネジは、スタンド使用時に必要ですので、大切に保管してください。

5 本製品をアームや壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アームまたは壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アームまたは壁掛けキットに添付されているネジ 4 本（M4 × 10mm）で取り付けてください。



アーム、壁掛けキット固定用ネジ穴

6 アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。

「コンピュータ本体と接続する」手順2 (→ P.18)

POINT

- ▶ アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

7 手順1で取り外した背面のケーブルカバーを取り付けます。

スタンドの取り付け方法

アームまたは壁掛けキットを外してスタンドを使用する場合は、「アームまたは壁掛けキットの取り付け方法」(→ P.20)の逆の手順でスタンドを取り付けてください。

5 ディスプレイドライバ (INF ファイル) のインストール

初めて電源を入れるとき

コンピュータ本体に接続後、最初の電源投入時に、本製品のドライバ (INF ファイル) のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニタ」として設定を完了させ、その後ドライバのダウンロード／インストールを行ってください。

POINT

- ▶ 本製品の INF ファイルは、Windows Vista および Windows XP にインストールできます。他の OS でご使用の場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニタ」としてご使用ください。

最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする

最新のドライバ (INF ファイル) は、富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html) よりダウンロードできます。

「ドライバダウンロード」をクリックし、「ディスプレイ INF ファイル／タッチパネルドライバ」からお使いの型名を検索してダウンロードし、インストールしてください。

6 液晶ディスプレイのセットアップ

対人センサー機能

本製品には対人センサーが搭載されています。対人センサーには「ユーザー感知機能」「盗み見防止機能」「省電力モードからの復帰機能」があります。ここでは、これらの機能について説明しています。

■ 機能説明

- ・ユーザー感知機能

センサーが「オン」のとき、センサーがユーザーを感知しないと最短 4 秒で画面の表示を消します。センサーがユーザーを感知すると画面を表示します。これにより、約 97% の消費電力が削減されます。

詳しくは「各種設定方法」(→ P.26) をご覧ください。

- ・盗み見防止機能

USB ケーブルをコンピュータ本体と接続した場合で「PC 画面ロック」が有効に設定されているとき、画面の表示が消えた後に設定した時間が経過すると、コンピュータがロックされます。これにより、盗み見を防止したり、第三者による不正使用を防いだりすることができます。

詳しくは「各種設定方法」(→ P.26) をご覧ください。

POINT

- ▶ コンピュータのロックを解除するには、Windows ログオンパスワードを入力してください。

- ▶ 指紋センサーやカードなどの認証デバイスをお使いで、コンピュータのロック解除をデバイスによる認証で行うように設定している場合は、指紋やカードによる認証でロックを解除することができます。

詳しくはコンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

- ・省電力モードからの復帰機能

USB ケーブルをコンピュータ本体と接続した場合で「PC 画面ロック」が有効に設定されているとき、センサーがユーザーを感知すると、コンピュータの省電力／スクリーンセーバー状態を解除し、画面を表示します。

詳しくは「各種設定方法」(→ P.26) をご覧ください。

□ 各種設定方法

メニュー／決定ボタンを押して表示されるメニュー画面の中から、「センサー設定」アイコンを選択することで、各種設定を行うことができます（→ P.32）。

アイコン	名称	機能
	センサー	オン：対人センサーを動作させます オフ：対人センサーを動作させません
	距離	対人センサーからユーザーまでの距離を設定します。選択した距離より、ユーザーが離れると離席と判断します。 対人センサーからユーザーまでの距離を目安に次から選択してください。 設定距離：・ 60cm 以下 ・ 90cm 以下（ご購入時設定） ・ 120cm 以下
	モニター オフ時間	離席後から画面の表示を消すまでの時間を設定します。 設定時間：・ 4 秒 ・ 10 秒（ご購入時設定） ・ 30 秒 ・ 60 秒
	PC 画面 ロック	画面の表示を消してから、コンピュータが「コンピュータのロック」への移行の「オン」「オフ」を設定します。 オン：「コンピュータのロック」に移行する オフ：「コンピュータのロック」に移行しない（ご購入時設定）

重要

- ▶ 背もたれの高いいすなどを使用していると、離席時に対人センサーが誤認識するおそれがあります。
- ▶ センサー部がゴミ、ほこりなどで汚れた場合、ガーゼなど柔らかい布で拭いてください（→ P.45）。
- ▶ 直射日光や蛍光灯などの強い光が対人センサーに当たっていたり、ネックレスなど光を反射しやすいものを身につけていたりすると、センサーが正しく動作しない場合があります。
- ▶ センサーは光の反射角度により距離を測定するものです。センサーが誤認識しないようにセンサー部が使用者の顔中央に向く姿勢でお使いください。

AUTO セットアップアクション機能

本製品は、次のとき、最適な表示を得られるように画面位置、水平サイズなどを自動調整します。

- ・ 初めてディスプレイを本体に接続したとき
- ・ 今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定されたとき

重要

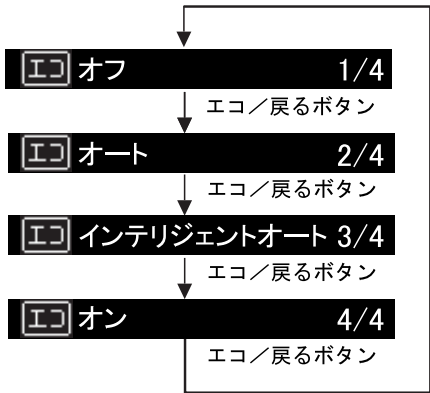
- ▶ AUTO セットアップアクションは、本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します（→ P.49）。
- ▶ 一度調整された解像度（モード）は、設定値が本製品に記憶されるので、記憶後は AUTO セットアップアクションは動作しません。
- ▶ AUTO セットアップアクションは、画面全体が暗い色に設定されている場合、動作しないことがあります。その場合は、パソコン本体で画面の背景を白色にしてから、メニュー画面で「自動調整」（→ P.32）を行ってください。

エコ機能

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を削減する機能や、削減された消費電力を表示する機能が搭載されています。

■エコモード

エコモードとは、画面の明るさを抑え消費電力を削減する機能です。
エコモードには「オフ」「オート」「インテリジェントオート」「オン」の4種類があり、通常時の消費電力を最大で約27%削減することができます。
エコ／戻るボタンを1回押すと、現在のエコモードの状態が表示されます。続けて押すと、次のようにモードが切り換わります。



モード名	機能
オフ	メニュー画面の「明るさ」で調整した明るさそのまま画面を表示します。
オート	明るさセンサーで周囲の明るさを検知し、周囲に合わせて画面の明るさを下げることにより消費電力を削減します。
インテリジェントオート	明るさセンサーに加え、表示する画像によって画面の明るさを下げることにより消費電力を削減します。
オン	画面の明るさを最小にします。消費電力が最も少なくなります。

👉重要

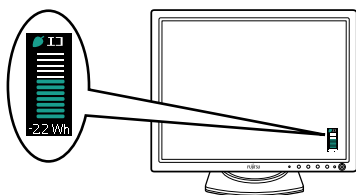
- ▶ ご購入時はエコモードが「オフ」に設定されています。
- ▶ エコモードが「オン」の状態「明るさ」を調整すると、エコモードは、「オフ」に設定されます。
- ▶ 明るさセンサー（→ P.14）の前にはものを置かないでください。エコモードを「オート」または「インテリジェントオート」に設定した場合、ものを置くなどして明るさセンサーを覆い隠してしまうと、周囲の明るさを正しく検知できずに画面が必要以上に暗くなってしまいます。

■エコゲージ

現在の電力削減量をリアルタイムに数字とバーで表示します。

電源投入時や節電状態からの復帰時、入力信号および電力削減量が変わったときに一定時間表示され、自動的に消えます。

エコゲージは、メニュー／決定ボタン（→ P.14）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコゲージ」（→ P.32）で表示、非表示を切り換えることができます。



POINT

- ▶ エコゲージで表示している数値およびバーは、エコモードやエコブートを使わずに明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。

■エコブート

エコブートとは、OS の起動時など、入力信号が本製品の推奨解像度より小さい解像度（1024 × 768 など）の場合に、輝度を落として電力を削減する機能です。

エコブートはメニュー／決定ボタン（→ P.14）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコブート」（→ P.32）でオン、オフを切り換えることができます。

■累積電力削減量表示

ご使用開始からの電力削減量を表示することができます。

累積電力削減量（Wh）とその累積電力削減量を CO2 換算した値（kg）の 2 種類を表示します。累積電力削減量とはエコモードやエコブートを使わずに、明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。

メニュー／決定ボタン（→ P.14）でメニューを表示し、「エコ設定」－「累積電力削減量表示」（→ P.32）で表示できます。

「累積電力削減量表示」で表示している累積電力削減量と累積 CO2 削減量は、「エコ設定」－「累積電力削減量 リセット」（→ P.32）でリセットできます。

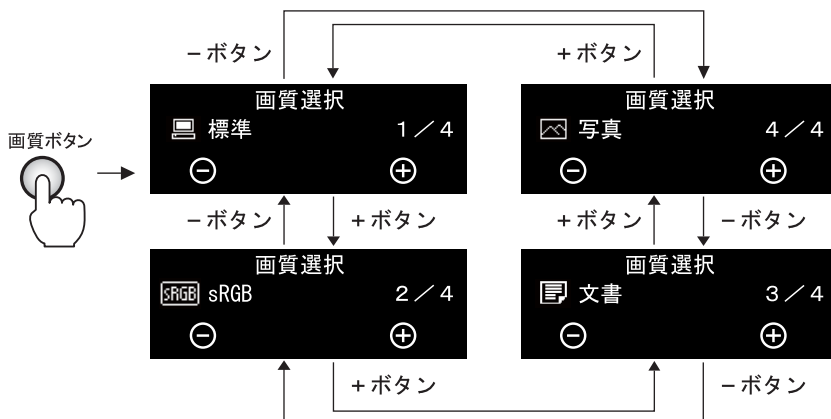
POINT

- ▶ 「累積電力削減量」には、本製品が節電状態に入っている間（→ P.35）に削減された電力量は含まれておりません。

画質を選ぶ

画質／－ボタン（→ P.14）を押すと、サブメニューから映像の内容に合わせた画質モードを選ぶことができます。

画質／－ボタンを押すと「設定選択」画面が表示されます。続けて－／＋ボタンを押すと、画質を選択することができます。



ボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示は自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された内容で画面が表示されます。

モード名称	モードの用途など
標準	標準的な設定のモードです。このモードのみコントラスト、カラー、黒レベルの調整が可能です。
sRGB	コンピュータの機種など機器の違いによらず、意図したとおりの色を再現するための国際規格「sRGB」に設定します。
文書	メールや文書の作成など、背景に白が多い表示のときに最適なモードです。明るさが抑えられ、文字が見やすくなります。
写真	デジタルカメラの画像やWEB閲覧などのグラフィック表示を鮮やかに見せるモードです。鮮明に色を表現します。

重要

- ▶ メニュー画面などが表示されている場合、設定選択画面は表示できません。メニュー画面などの表示が消えた後に、画質／－ボタンを押してください。
メニュー画面については、「細かい設定を行う」（→ P.31）をご覧ください。
- ▶ 細かい画質の調整は画質選択で「標準」を選択後、メニュー／決定ボタン（→ P.14）でメニューを表示させて行ってください。
画質の調整項目については、「調整項目の内容」（→ P.32）をご覧ください。
- ▶ 画面の明るさは、画質モードごとに設定することができます。

細かい設定を行う

画面下部にあるメニュー／決定ボタン（→ P.14）を押して表示されるメニュー画面の中から、個別に選択して調整することができます。

■ メニュー画面の基本的な操作

□ ボタンの基本機能

メニュー／決定ボタン

- ・ メニュー画面の表示
- ・ 調整項目の決定
- ・ 設定値の保存
- ・ ボタンロックの解除

画質／－ボタン

- ・ 調整項目の選択（メニュー画面表示時）
- ・ 設定値の調整（メニュー画面表示時）
- ・ 「画質」選択メニューの表示

エコ／戻るボタン

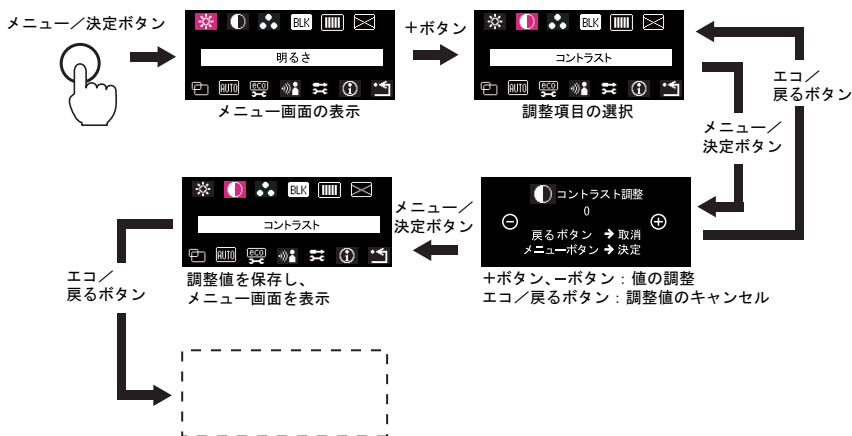
- ・ メニュー画面の消去
- ・ 調整項目の取り消し
- ・ 設定値の取り消し
- ・ エコモードの切り換え

音量調整ボタン／＋ボタン

- ・ 調整項目の選択（メニュー画面表示時）
- ・ 設定値の設定（メニュー画面表示時）
- ・ 音量調整メニューの表示

□ 操作手順

例) コントラストを調整する場合



メニュー画面が表示されている状態でボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示は自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された設定内容で画面が表示されます。

重要

▶ 解像度を変更しても、保存された設定内容で画面が表示されます。

■ 調整項目の内容

アイコン	名 称	機 能
	明るさ	画面全体の明るさを調整します。
	コントラスト	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します（画質モード「標準」でのみ調整可能）。
	カラー調整	画面の表示色を調整します。固定値の設定や赤／緑／青の色合いを個別に設定できます（画質モード「標準」でのみ調整可能）。
	黒レベル	黒色のレベルを任意に設定できます（画質モード「標準」でのみ調整可能）。
	水平サイズ	帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。
	フォーカス	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。
	画面位置	表示位置を上下左右に調整します。
	自動調整	画面位置、水平サイズ、フォーカスを自動で調整します。自動調整する場合は、画面の背景を白色にすることをお勧めします。 「AUTO セットアップアクション機能」（→ P.27）
	エコ設定	消費電力の削減に関する機能の設定をします。
	エコゲージ	エコゲージ（→ P.29）の表示、非表示を切り換えます。
	エコブート	エコブート（→ P.29）のオン、オフを切り換えます。
	累積電力削減量表示	累積の電力削減量（Wh）と累積の電力削減量を CO2 換算した値（kg）が表示されます。
	累積電力削減量リセット	累積電力削減量および累積 CO2 削減量の値をクリアし、ゼロにします。
	その他	その他の設定をします。
	ミュート	オンにすると、本製品のスピーカー出力を停止します。ミュートがオンのときに音量ボタンで音量を調整すると、ミュートは解除されます。
	テキストモード	640 × 400 と 720 × 400 の解像度（モード）を切り換えます。
	ロゴ	起動時のロゴを表示するかしないかを設定できます。
	DDC/CI	VESA DDC/CI ^{注1} のオン、オフを切り換えます。

アイコン	名 称	機 能
	ボタンロック	メニュー／決定ボタン、音量調整ボタン／+ボタン、画質／-ボタン、エコ／戻るボタン、電源ボタンを無効にすることができます。ボタンロック中にこれらのボタンを押すと、画面に「ボタンがロックされています」と表示されます。ロックを解除するには、メニュー／決定ボタンを3秒以上（メインメニューが表示されるまで）押し続けてください。
	センサー設定	対人センサーのオン／オフの切り換え、センサーの各種設定ができます。
	センサー	対人センサーのオン／オフの切り換えができます。
	距離	対人センサーからユーザーまでの距離設定を行うことができます。
	モニターオフ時間	離席後から画面の表示を消すまでの時間設定を行うことができます。
	PC 画面ロック	画面の表示を消してから、コンピュータが「コンピュータのロック」に移行するか否かを設定します。
	情報表示	現在設定されている解像度（モード）と周波数が表示されます。またアイコンでスピーカー、DDC/CI、画質モード、エコブート、エコゲージ、エコモード、テキストモード設定、ロゴ表示設定の状態を確認できます。
	リセット ^{注2}	オール： すべての項目をご購入時の設定に戻します。 カラー： 色に関する設定のみを、ご購入時の設定に戻します。

注1：本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。

注2：リセット（オール／カラー）はどの画質モードで実行しても、すべての画質モードの設定値をご購入時の設定値に戻します。

■ 音量調整

スピーカーの音量は、メニュー画面を表示させずに、+ボタンを押してから、-／+ボタンで直接調整できます。

アイコン	名称	機能
	音量	本製品のスピーカーの音量を調整します。 +ボタンを押すと音量が大きくなり、-ボタンを押すと音量が小さくなります。 ミュートがオンのときに音量を調整すると、ミュートは解除され、スピーカーから音が出る状態になります。

画質モードと調整項目の組み合わせ

○：選択可 ×：選択不可

	標準	sRGB	文書	写真
明るさ	○	○	○	○
コントラスト	○	×	×	×
カラー調整	○	×	×	×
黒レベル	○	×	×	×

7 省電力機能

本製品はコンピュータの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画面の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。

本製品は、コンピュータ本体の制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。移行時には画面に「節電に入ります」というメッセージが表示されます。省電力機能については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

コンピュータ本体の状態	本製品の電源供給元	本製品の動作		本製品の消費電力
		画面表示	電源ランプ	
通常状態	コンセントまたはコンピュータ本体のアウトレット	表示あり	緑	24W / 21W (最大時/通常時) 注1
		表示なし	緑	0.7W (センサー動作時)
映像出力オフ注2	コンセントまたはコンピュータ本体のアウトレット	表示なし	オレンジ	0.5W (省電力動作時) 注2
スリープ/スタンバイ、または休止状態	コンセント			
スリープ/スタンバイ、または休止状態	コンピュータ本体のアウトレット	表示なし	消灯	0W
—	コンセントまたはコンピュータ本体のアウトレット	表示なし	消灯	0.4W (電源ボタン「オフ」時) 注3

注1: 通常時とは、画質モードを「文書」にして、スピーカーを使用しないで明るさを特に調整しない状態での使用を想定しています。

注2: パソコン本体で設定した自動的にディスプレイの電源を切る時間が経過してから、スリープ/スタンバイ、または休止状態に移行する前の状態です。

注3: 「電源ボタン「オフ」時」の電力消費は、電源プラグをコンセントまたはコンピュータ本体のアウトレットから抜くことにより0にすることができます。

8 こんなときには

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.44）にご相談ください。

画面が表示されない

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプが消灯している	電源ケーブルが正しく接続されていない。 または奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを正しく、奥まで確実に接続してください。	「ケーブルを接続します。」（→P.18）
	電源が入っていない。	電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（→ P.14）
電源ランプが消灯し、キーボードやマウスが反応しない	コンピュータ本体の省電力機能の設定が高度（ACPI S3,S4）になっている。	コンピュータ本体の省電力機能の設定を確認してください。	コンピュータ本体のマニュアル
電源ランプがオレンジ色に点灯している メニュー／決定ボタンを押すと「節電に入ります」のメッセージが表示される	コンピュータが省電力状態になっている。	キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。	「省電力機能」（→ P.35）
	ディスプレイケーブルが本製品またはコンピュータ本体に、正しく接続されていない。	本製品およびコンピュータ本体にディスプレイケーブルを正しく接続してください。	「ケーブルを接続します。」（→P.18）

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプが点灯するが、画面が表示されない 場合によっては次のメッセージも表示される 「規定外の信号です」 「入力信号がありません」	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピュータ本体の電源を切り、本製品およびコンピュータ本体にディスプレイケーブルが正しく接続されていることを確認してから、コンピュータ本体の電源を入れてください。	「標準表示仕様」（→P.49）、コンピュータ本体のマニュアル
	ディスプレイケーブルが、本製品またはコンピュータ本体に正しく接続されていない。	本製品およびコンピュータ本体にディスプレイケーブルを正しく接続してください。	「ケーブルを接続します。」（→P.18）

対人センサーが正しく感知しない

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
ユーザーが離席したのに表示が消えない。 または、ユーザーが在席しているのに表示が消える	センサーの向きが悪い。	センサーの向きを正しく調節してください。	「対人センサー」(→ P.16)
	センサーが「オフ」設定となっている。	センサーを「オン」に設定してください。	「各種設定方法」(→ P.26)
	センサーの距離設定があていない。	「距離」から距離設定を変更してください。	「各種設定方法」(→ P.26)
	センサー部がゴミ、ほこりなどで汚れている。	ガーゼなど柔らかい布で拭いてください。	「画面（液晶パネル）および対人センサー」(→ P.45)
	ネックレスなど光を反射しやすいものを身につけている。	光を反射しやすいものは、外してください。	—
	センサー感知範囲内に障害物がある。	障害物となるものを取り除いてください。	—
	直射日光や強い光がセンサー部に直接当たっている。	向きや位置を変えるか、強い光がセンサー部に当たらないようにしてください。	—
離席したのに画面ロックの画面表示にならない	USB ケーブルが正しく接続されていない。	USB ケーブルを接続してください。	「コンピュータ本体と接続する」(→ P.18)
	「PC 画面ロック」設定が「オフ」になっている。	「PC 画面ロック」設定を「オン」に設定してください。	「各種設定方法」(→ P.26)
	コンピュータの USB 設定が無効に設定されている。	コンピュータの USB 設定を確認してください。	コンピュータ本体のマニュアル

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
「  センサー故障 マニュアルをごらん ください」とメッセー ジが表示される	センサーユニット関 連部品の故障。	有償にて交換（補修 用性能部品単位）さ せていただきます。 詳しくは「故障・修 理に関するお問い合 わせ先」または購入 元にご連絡ください （無償保証期間は除 く）。	「お問い合わせ 先」（→ P.44）

画面がおかしい

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大 きすぎる。	明るさを調整してく ださい。	「明るさ」（→ P.32）
画面が暗くなった	エコモードが「オー ト」「インテリジェン トオート」または「オ ン」になっている。	エコ／戻るボタンを 押して、エコモードを 「オフ」に設定してく ださい。	「エコモード」（→ P.28）
	明るさセンサーが何 かに覆われている。	明るさセンサーを 覆っているものを取り 除いてください。	「各部の名称と機 能」（→ P.14）
	明るさの設定値が小 さすぎる。	明るさを調整してく ださい。	「明るさ」（→ P.32）
	表示解像度が本製品 の推奨解像度（→ P.49）より小さい解像 度（1024 × 768 など） で使用されており、エコ ブートが動作してい る。	エコブートをオフに してください。	「エコブート」（→ P.29）
	液晶パネル内部の蛍 光管が、長期使用で暗 くなっている。	有償にて交換（補修用 性能部品単位）させ ていただきます。詳しく は「故障・修理に関す るお問い合わせ先」ま たは購入元にご連絡 ください。	「お問い合わせ 先」（→ P.44）

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面いっぱいに表示されない	画面位置の調整が適切でない。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「水平サイズ」(→ P.32)、 「画面位置」(→ P.32)
色の階調が強調され、グラデーションがなめらかに表示されない	画質モードが「写真」に設定されている。	画質モードの設定を別のモードに変更してご使用ください。	「画質を選ぶ」(→ P.30)
画面の縦横比が崩れてしまう	コンピュータ本体の設定が標準表示仕様以外の解像度 (モード) になっている。	コンピュータ本体の設定を標準表示仕様の解像度 (モード) に設定してください。	「標準表示仕様」(→ P.49)、 コンピュータ本体のマニュアル
	コンピュータ本体の設定が 640 × 400 または 720 × 400 の解像度 (モード) になっている。	コンピュータ本体の設定を 640 × 400 または 720 × 400 以外の解像度 (モード) に変更してください。	コンピュータ本体のマニュアル
格子状の表示画面がちらつく	フォーカスがあっていない。	フォーカスを調整してください。	「フォーカス」(→ P.32)
帯状 (縦) のしま模様が見えることがある	水平サイズの調整が適切でない。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	「水平サイズ」(→ P.32)、 「フォーカス」(→ P.32)
画面がはみ出る	画面位置の調整が適切でない。	自動調整を実施してください。 それでもなお画面がはみ出る場合は、水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「AUTOセットアップアクション機能」(→ P.27)、 「水平サイズ」(→ P.32)、 「画面位置」(→ P.32)
	標準表示仕様以外の解像度 (モード) になっている。	コンピュータ本体の設定を標準表示仕様の解像度 (モード) に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.49)、 コンピュータ本体のマニュアル
次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	本製品に適切な信号が入力されていない。	コンピュータ本体の設定を標準表示仕様の解像度 (モード) に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.49)、 コンピュータ本体のマニュアル
画面が消えることがある	電源ケーブルが奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを奥まで確実に接続してください。	「ケーブルを接続します。」(→ P.18)

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
文字の太さが場所によって異なる	1280 × 1024 よりも低い解像度 (モード) になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合があります。最適な画面にするには「画面の設定」または「画面のプロパティ」で解像度を 1280 × 1024 に設定してください。	「標準表示仕様」(→ P.49)、 コンピュータ本体のマニュアル
	フォーカス、水平サイズの調整が適切でない。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	「水平サイズ」(→ P.32)、 「フォーカス」(→ P.32)
電 源 投 入 直 後 や Windows の 起 動 時 または 終 了 時 に 画 面 が 点 滅 し た り、 乱 れ た り す る こ と が あ る	コンピュータからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	コンピュータ本体のマニュアル
画面を切り換えても前の像が薄く残っている	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	コンピュータの電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は 1 日程度で自然に消えます。スクリーンセーバーを設定することをお勧めします。	—
表示画面にむらがある (もやもやしている)	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」(→ P.14)
画面がちらつく	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードを変更して、ちらつきの少ない画質モードを選択してください。	「画質を選ぶ」(→ P.30)
	エコモードが「インテリジェントオート」に設定されている。	エコモードを別のモードに変更してご使用ください。	「エコモード」(→ P.28)

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
2台以上のマルチディスプレイを表示したとき、画面の色調が若干異なって見える	装置の個体差によるもの。	画質モードを「sRGB」に設定、あるいはカラーを調整してください。	「画質を選ぶ」(→ P.30)、 「カラー調整」(→ P.32)

画面調整ができない

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面上に「ボタンがロックされています」と表示される	ボタンロックが有効になっている。	メニュー／決定ボタンを 3 秒以上（メニュー画面が表示されるまで）押し続け、ボタンロックを解除してください。	「ボタンロック」(→ P.33)

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	本製品のミュートがオンになっている。	メニュー画面より、ミュートをオフにしてください。	「ミュート」(→ P.32)
	コンピュータ本体の音量の設定がミュートになっている。	画面右下の通知領域にある「音量」アイコンをクリックして音量つまみを表示し、ミュートの設定を解除してください。	コンピュータ本体のマニュアル
	本製品のスピーカー音量またはコンピュータ本体の音量設定が最小となっている。	本製品のメニュー画面が表示されていない状態で + ボタンを押してから、 - / + ボタンで音量を調整してください。または画面右下の通知領域にある「音量」アイコンをクリックして音量つまみを表示し、音量を調整してください。	「各部の名称と機能」(→ P.14)、コンピュータ本体のマニュアル
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルが本製品とコンピュータ本体の適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。	「ケーブルを接続します。」(→ P.18)
	本製品が省電力モードになっている。	省電力時には音声出力を止める仕様となっています。	「省電力機能」(→ P.35)
スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	—
電源投入時などに「ブチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—

お問い合わせ先

次のお問い合わせ先へご相談ください。

こんなときには	こちらへ
故障かなと思われたとき	<法人のお客様> 富士通ハードウェア修理相談センター 通話料無料 0120-422-297 受付時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）
	<個人のお客様> 故障や修理に関する受付窓口 通話料無料 0120-926-220 受付時間 24時間・365日対応
技術的なご質問、ご相談	富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口 通話料無料 0120-950-222 受付時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日を除く）

- ・おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ・各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。
お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- ・システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

9 日常のお手入れ

清掃する

お手入れの前に本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントまたはコンピュータ本体のアウトレットから抜いてください。

重要

▶ 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。

- ・アルカリ性成分を含んだもの
- ・界面活性剤を含んだもの
- ・アルコール成分を含んだもの
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
- ・研磨材を含んだものなど

▶ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

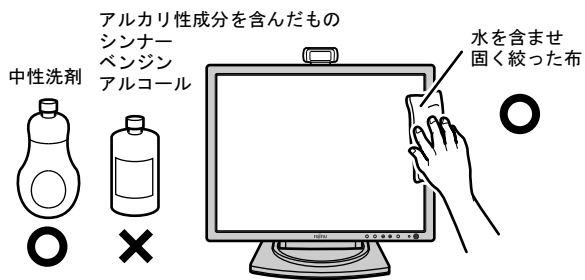
□ 画面（液晶パネル） および対人センサー

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



□ カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りのときには、本製品に水が入らないように充分注意してください。



10 リサイクル

■ 本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

- ・ 液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。
- ・ 法人、企業のお客様へ
本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>) をご覧ください。
- ・ 個人のお客様へ
本製品を廃棄する場合は、お申し込みホームページ (<http://azby.fmworld.net/recycle/>) をご覧ください。

11仕様

本体仕様

項目		仕様
接続 PC 本体		FMV シリーズ、AT 互換機
入出力 I/F (コネクタ)	アナログ RGB コネクタ (ミニ D-Sub15 ピン)	映像信号：アナログ (セパレート同期信号 /TTL) 0.7Vp-p (正極性)、75Ω インピーダンス
	オーディオ入力端子 (φ3.5 ステレオジャック)	音声信号：アナログ 0.7Vrms、12.7KΩ インピーダンス
表示部	画面サイズ	17 型 (対角 43cm)
	表示寸法	337.9mm (H) × 270.3mm (V)
	液晶パネル	TFT カラー液晶
	解像度	1280 × 1024 ドット
	画素ピッチ	0.264mm × 0.264mm
	表示色	1677 万色
	輝度	250cd/m ²
	コントラスト比	800:1
	応答速度	5ms
	視野角	上下 160 度、左右 160 度
機能	入力対応解像度	640 × 400、640 × 480、720 × 400、800 × 600、1024 × 768、 1280 × 1024
	チルト	下 0 ～上 20 度
	スワイベル	左右各 90 度
電源	入力	AC100V 50/60Hz (入力波形は正弦波のみサポート)
	最大消費電力	24W
	通常消費電力 ^{注 1}	21W
	センサー動作時	0.7W
	最小消費電力 (省電力動作時) ^{注 2}	0.5W
	電源ボタン「オフ」時	0.4W ^{注 3}
スピーカー	出力	1W × 2 8Ω インピーダンス
	周波数特性	450Hz ～ 20kHz (0.5W 出力時)
寸法		380mm (W) × 364mm (H) × 175mm (D)
質量		約 3.3kg (本体) / 約 3.0kg (表示部のみ)
使用条件		温度 : 5 ～ 35℃
		湿度 : 10 ～ 90% (結露しないこと)

注 1: 通常消費電力とは、画質モードを「文書」にして、スピーカーを使用しないで明るさを特に調整しない状態での使用を想定しています。

注2: パソコン本体で設定した自動的にディスプレイの電源を切る時間が経過してから、スリープ/スタンバイ、または休止状態に移行する前の状態です。

注3: 「電源ボタン「オフ」時」の電力消費は、電源プラグをコンセントまたはコンピュータ本体のアウトレットから抜くことにより、0にすることができます。

標準表示仕様

本製品には、ご購入時に下表の解像度（モード）の調整値が登録されています（走査方式がインターレースの信号は対応していません）。

◎: 推奨解像度（モード） ○: 表示可能

No.	解像度（モード）	水平周波数	垂直周波数	表示可能解像度（モード）
1	640 × 400 注	31.5kHz	70Hz	○
2	640 × 480	31.5kHz	60Hz	○
3	640 × 480	37.5kHz	75Hz	○
4	640 × 480	37.9kHz	72Hz	○
5	720 × 400 注	31.5kHz	70Hz	○
6	800 × 600	35.2kHz	56Hz	○
7	800 × 600	37.9kHz	60Hz	○
8	800 × 600	46.9kHz	75Hz	○
9	800 × 600	48.1kHz	72Hz	○
10	1024 × 768	48.4kHz	60Hz	○
11	1024 × 768	56.5kHz	70Hz	○
12	1024 × 768	60.0kHz	75Hz	○
13	1280 × 1024	64.0kHz	60Hz	◎
14	1280 × 1024	80.0kHz	75Hz	○

注: メニュー画面の「テキストモード」(→ P.32) から手動で切り換えてください。

重要

- ▶ 接続するコンピュータの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、メニュー画面より自動調整を行ってください。自動調整で調整しきれない場合は、メニュー画面の「画面位置」(→ P.32)、「水平サイズ」(→ P.32) または「フォーカス」(→ P.32) で調整してください。コンピュータ側での微調整は行わないでください。
- ▶ 上表以外の解像度（モード）にコンピュータを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- ▶ 1280 × 1024 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生することがあります。これは、擬似的に拡大表示（全画面表示）しているためであり、故障ではありません。
- ▶ 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバータで表示された NTSC 信号については表示品位を保証するものではありません。

FMV シリーズ
ECO プラスカラー液晶ディスプレイ -17 (VL-177SRL)
オンラインマニュアル

B5FY-9801-01 Z0-00

発行日 2009 年 10 月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。